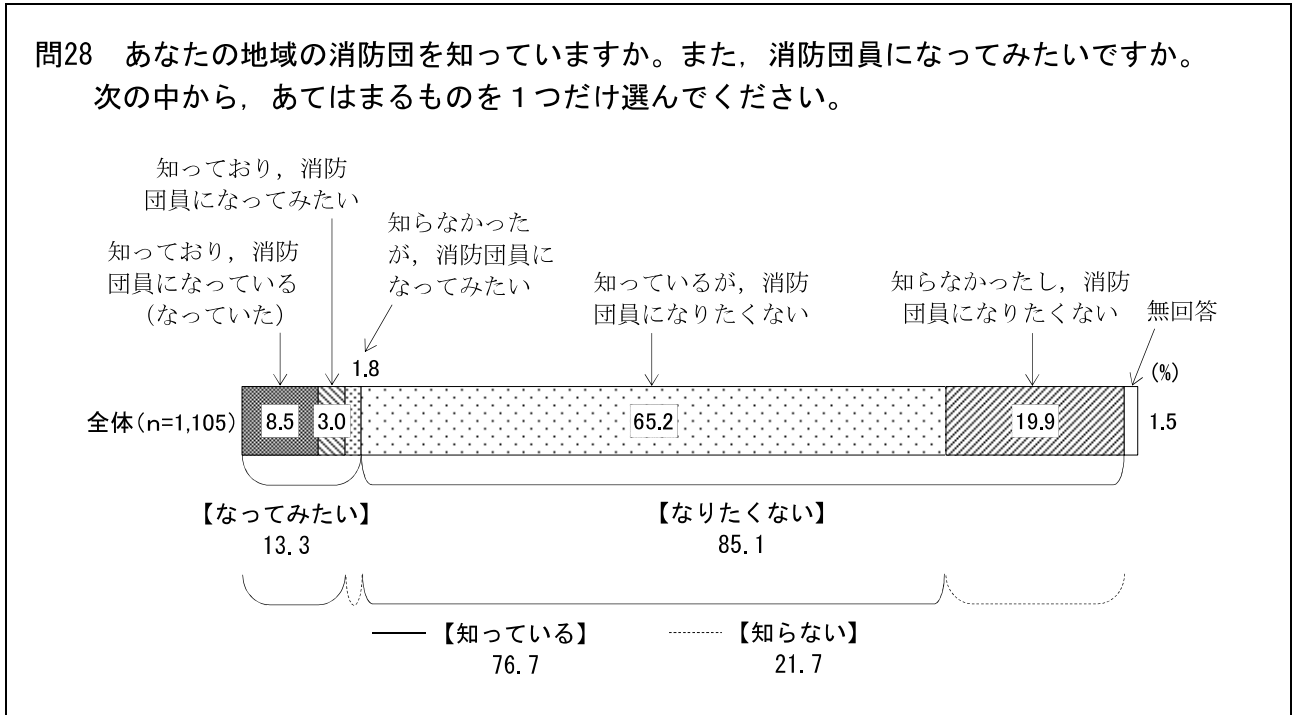


XI 消防団

1. 消防団の活動状況

(1) 消防団の認知の有無

－【知っている】が7割台半ば－



消防団の認知としては、「知っており、消防団員になっている（なっていた）」（8.5%）、「知っており、消防団員になってみたい」（3.0%）、「知っているが、消防団員になりたくない」（65.2%）を合わせた【知っている】（76.7%）は7割台半ばとなっている。一方、「知らなかったが、消防団員になってみたい」（1.8%）と「知らなかったし、消防団員になりたくない」（19.9%）を合わせた【知らない】（21.7%）は2割を超えている。

消防団への参加意向としては、「知っており、消防団員になっている（なっていた）」（8.5%）、「知っており、消防団員になってみたい」（3.0%）、「知らなかったが、消防団員になってみたい」（1.8%）を合わせた【なりたい】（13.3%）は1割台半ばとなっている。一方、「知っているが、消防団員になりたくない」（65.2%）と「知らなかったし、消防団員になりたくない」（19.9%）を合わせた【なりたくない】（85.1%）は8割台半ばとなっている。

－鹿行で【なりたい】が2割超－

地域別でみると、【なりたい】は、鹿行（21.3%）で2割を超えて最も高くなっている。

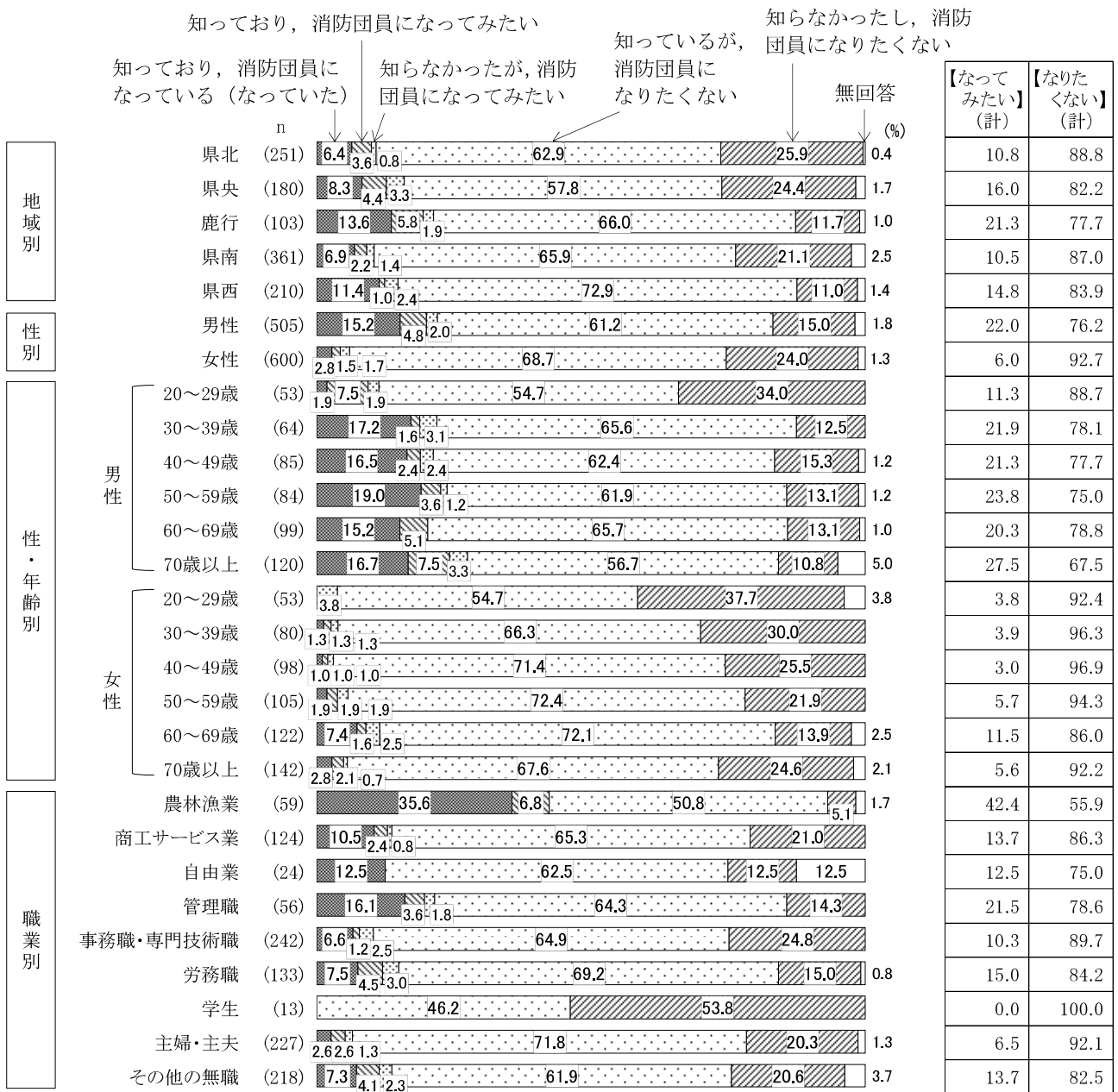
－男性で【なりたい】が女性よりも16ポイント高い－

性別でみると、【なりたい】は、男性（22.0%）が女性（6.0%）よりも16ポイント高くなっている。

－男性の70歳以上で【なりたい】が約3割－

性・年齢別でみると、【なりたい】は、男性の70歳以上（27.5%）で約3割と最も高く、次いで、男性の50代（23.8%）で2割台半ばと高くなっている。

図XI 28-1 消防団の認知の有無
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



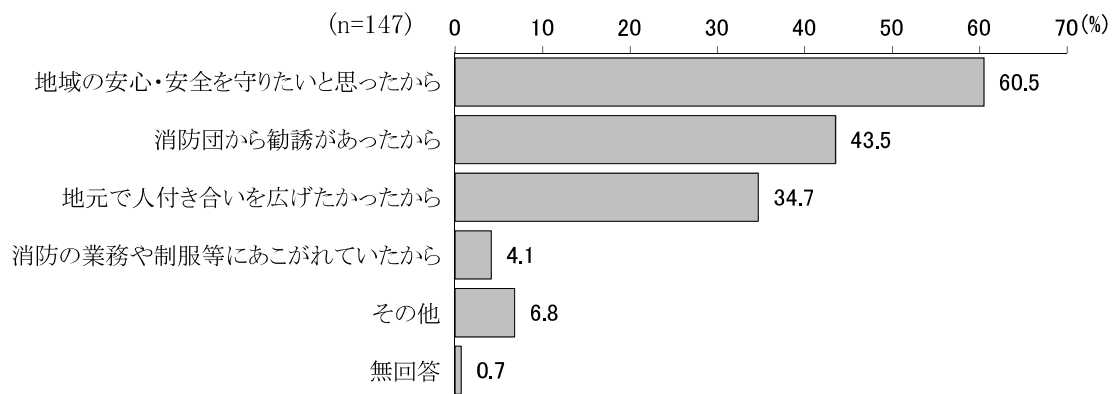
(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

(2) 消防団員になった理由

－「地域の安心・安全を守りたいと思ったから」が約6割－

(問28で「1 知っており、消防団員になっている(なっていた)」、「2 知っており、消防団員になってみたい」、「3 知らなかったが、消防団員になってみたい」と回答した方のみ)

問28-1 あなたが消防団員になった理由又は消防団員になりたい理由を教えてください。次の中から、あてはまるものを2つまで選んでください。



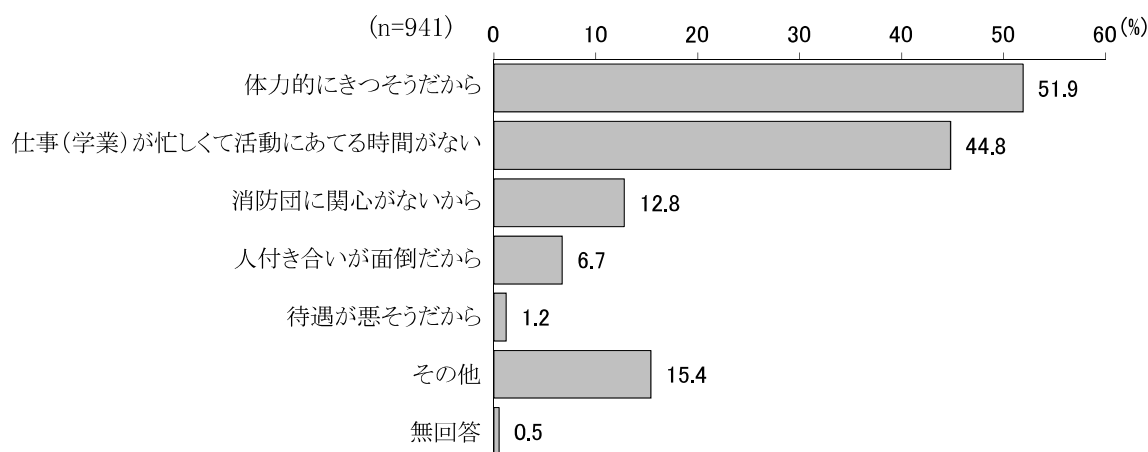
消防団員に【なつてみたい】と回答した方に、なつた又はなつたい理由を聞いたところ、「地域の安心・安全を守りたいと思ったから」(60.5%)が約6割と最も高く、次いで、「消防団から勧誘があったから」(43.5%)が4割台で続いている。

(3) 消防団員にならない理由

－「体力的にきつそうだから」が5割超－

(問28で「4 知っているが、消防団員になりたくない」, 「5 知らなかったし、消防団員になりたくない」と回答した方のみ)

問28-2 消防団員になりたくない理由について、次の中から、あてはまるものを2つまで選んでください。



消防団員に【なりたくない】と回答した方に、なりたくない理由を聞いたところ、「体力的にきつそうだから」(51.9%)が5割を超えて最も高く、次いで、「仕事(学業)が忙しくて活動にあてる時間がない」(44.8%)が4割台で続いている。

－女性で「体力的にきつそうだから」が男性よりも約16ポイント高い－

性別で見ると、「体力的にきつそうだから」は、女性(58.3%)が男性(42.6%)よりも約16ポイント高くなっている。

－男性で「仕事(学業)が忙しくて活動にあてる時間がない」が女性よりも約17ポイント高い－

性別で見ると、「仕事(学業)が忙しくて活動にあてる時間がない」は、男性(55.1%)が女性(37.8%)よりも約17ポイント高くなっている。

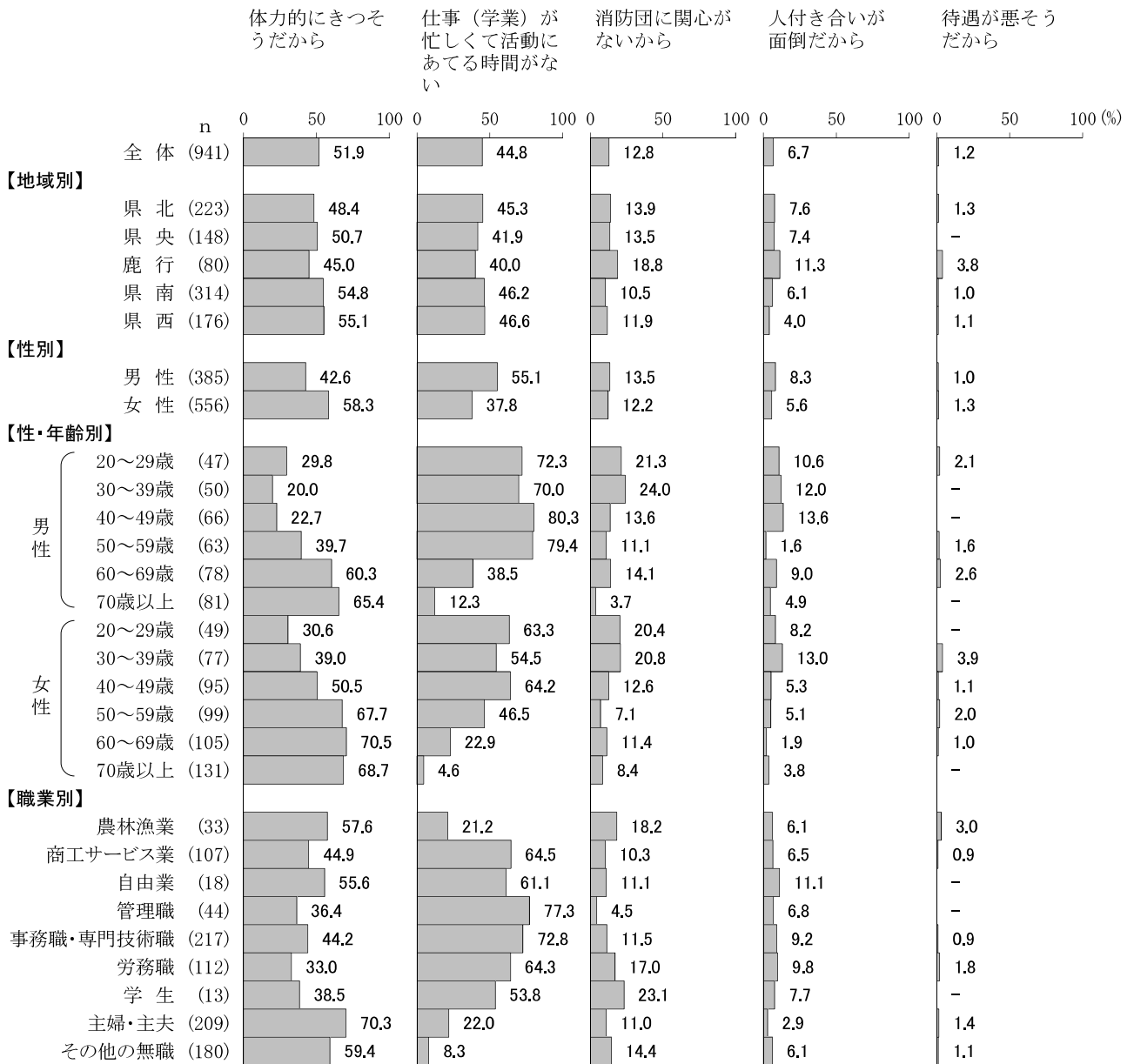
－女性の60代で「体力的にきつそうだから」が約7割－

性・年齢別で見ると、「体力的にきつそうだから」は、女性の60代(70.5%)で約7割と最も高く、次いで、男性の70歳以上(65.4%)、女性の50代(67.7%)、70歳以上(68.7%)で6割台後半と高くなっている。

－男性の40代と50代で「仕事(学業)が忙しくて活動にあてる時間がない」が約8割－

性・年齢別で見ると、「仕事(学業)が忙しくて活動にあてる時間がない」は、男性の40代(80.3%)と50代(79.4%)で約8割、男性の20代(72.3%)と30代(70.0%)で7割台前半と高くなっている。

図XI 28-2-1 消防団員にならない理由
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)

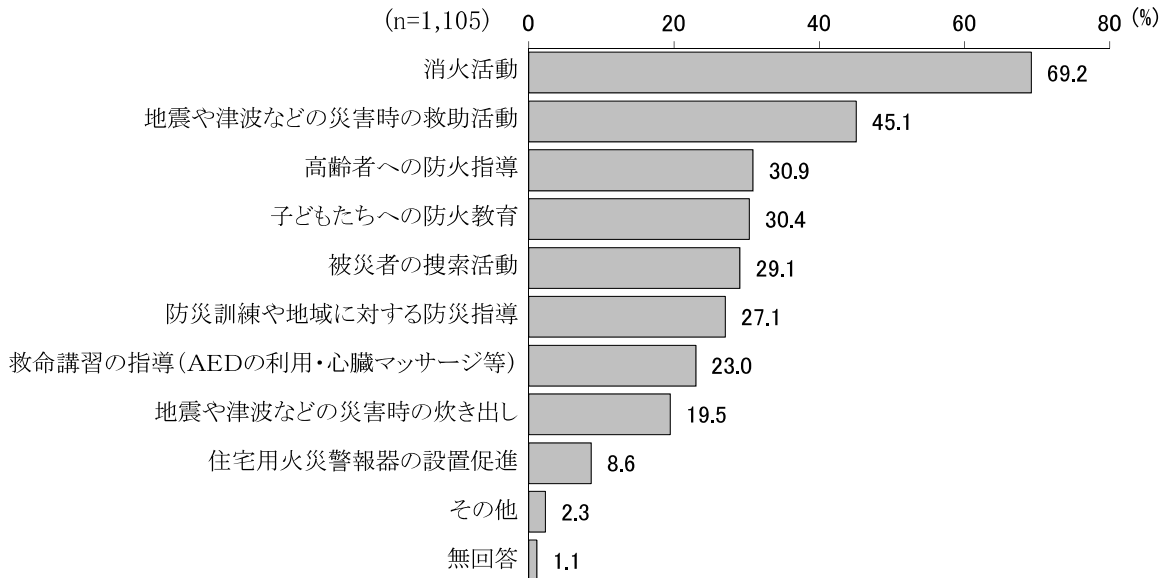


(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

2. 消防団に期待すること

－「消火活動」が約7割－

問29 あなたは、消防団に何を期待しますか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



消防団に期待することとしては、「消火活動」(69.2%)が約7割と最も高く、次いで、「地震や津波などの災害時の救助活動」(45.1%)が4割台で続いている。

－県西で「子どもたちへの防火教育」が4割超－

地域別でみると、「子どもたちへの防火教育」は、県西(41.0%)で4割を超えて最も高くなっている。

－男性で「被災者の捜索活動」が女性よりも約5ポイント高い－

性別でみると、「被災者の捜索活動」は、男性(32.1%)が女性(26.7%)よりも約5ポイント高くなっている。

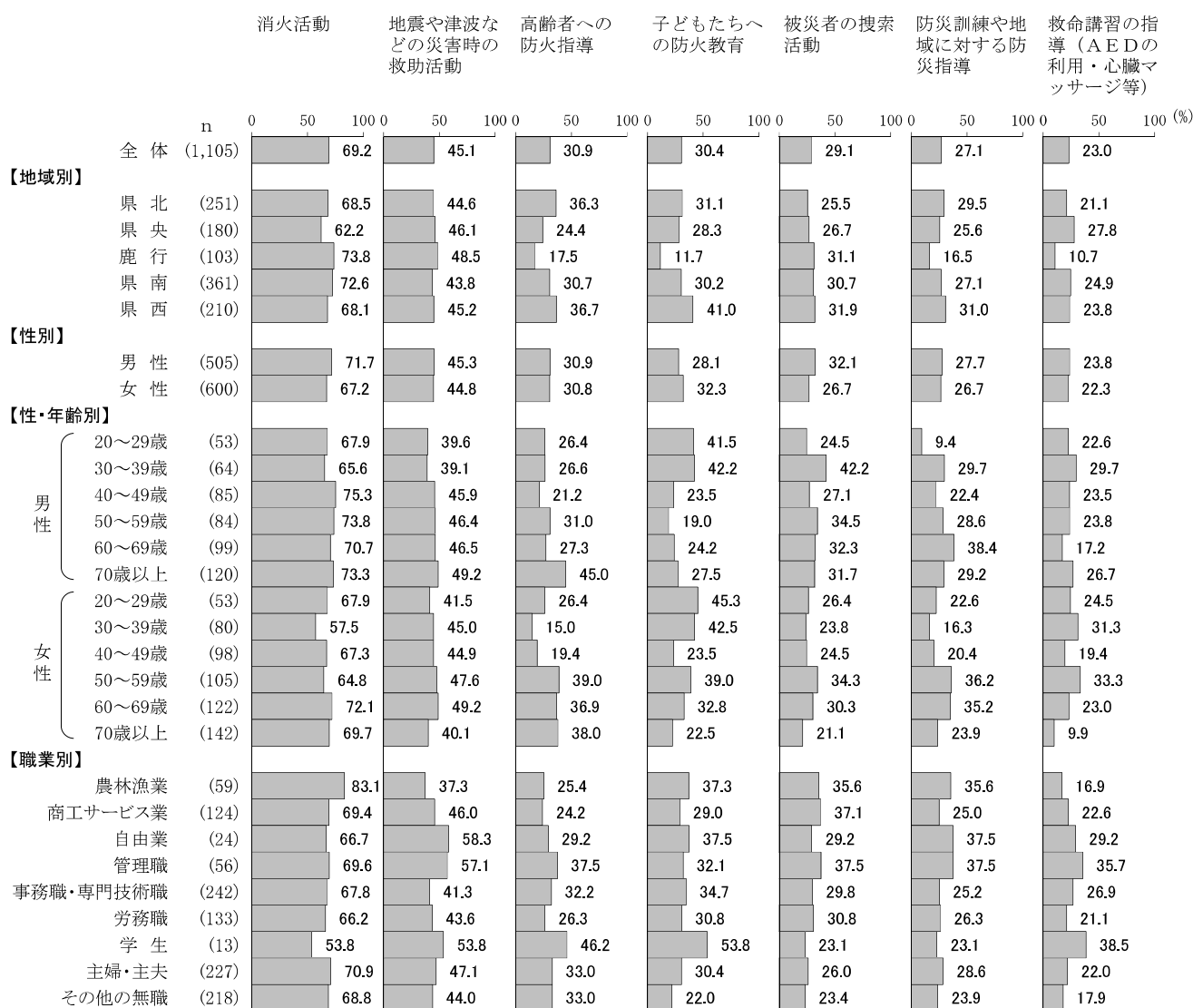
－男性の70歳以上で「高齢者への防火指導」が4割台半ば－

性・年齢別でみると、「高齢者への防火指導」は、男性の70歳以上(45.0%)で4割台半ばと最も高くなっている。

－男女ともに20代と30代で「子どもたちへの防火教育」が4割台－

性・年齢別でみると、「子どもたちへの防火教育」は、男性の20代(41.5%)、30代(42.2%)、女性の20代(45.3%)、30代(42.5%)で4割台と高くなっている。

図XI 29-1 消防団に期待すること
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。